

平成 30 年度（2018 年度）事業報告
（平成 29 年 9 月 1 日～平成 30 年 8 月 31 日）

平成 30 年度事業は、当初の事業計画ならびに予算案に基づいて次のように行われた。

法人事業の報告

1. 会員数の報告

平成 30 年 8 月 31 日現在の会員数は次のとおりである。

会員数：（ ）は平成 29 年 8 月 31 日現在の数

会員種別	医・歯		理		農・工		薬		他		計	
名誉会員－国内	34	(34)	12	(12)	6	(6)	12	(12)	1	(1)	65	(65)
名誉会員－国外	-		-		-		-		63	(65)	63	(65)
永年会員	6	5	2	(3)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	8	(8)
評議員	307	319	172	(176)	129	(130)	134	(132)	7	(6)	749	(763)
正会員	1,861	1,848	1,758	(1,708)	1,168	(1,118)	1,242	(1,231)	241	(247)	6,270	(6,152)
学生会員	157	135	261	(254)	303	(273)	197	(167)	2	(0)	920	(829)
小計	2,365	(2,341)	2,205	(2,153)	1,606	(1,527)	1,585	(1,542)	314	(319)	8,075	(7,882)
異動数	24		52		79		43		-5		(前年比 193)	
賛助会員									68口 (78)		51社 (54)	
団体会員											142団体 (149)	
総計											8,268 (8,085) (前年比 183)	

H30.8.31 支部別会員数（ ）は H29.8.31 の数

支部名	会員数(名)	%
北海道	218 (216)	2.6%
東北	557 (543)	6.7%
関東	2,957 (2,895)	35.8%
北陸	221 (213)	2.7%
中部	716 (708)	8.7%
近畿	1,791 (1,733)	21.7%
中国・四国	772 (753)	9.3%
九州	708 (691)	8.6%
国外他	328 (333)	4.0%
計	8,268 (8,085)	100.0%

2. 会議開催の報告

学会運営のために行われた主な会議の開催状況は以下のとおりである。

理事会 10月, 12月, 7月 3回
第 55 回総会 日時：平成 29 年 11 月 21 日
会場：TKP ガーデンシティ御茶ノ水

3. 各支部会議開催の報告

北海道支部 1回
東北支部 1回
関東支部 1回
中部支部 1回
北陸支部 1回
近畿支部 1回
中国・四国支部 1回
九州支部 1回

4. 委員会活動等の報告

・情報専門委員会

ホームページでは、「日本生化学会チャンネル」のバナーを設置し、学会の公式紹介ムービーと ConBio2017 で行われた 10 題のプレナリーレチャー動画を公開した。

・研究倫理委員会

日本医学会連合研究倫理委員会との連携を図り、意見書等を提出した。

- ・日本学術会議, 日本学術振興会, 日本医師会, 日本医学会連合調査, 各機関からの周知など連携および協力をした。

公益目的事業の報告

5. 出版 <公1>

(1) 生化学誌出版

会誌発行状況は以下のとおりである。

※偶数月の隔月発行 (6回/年)

	総頁	記事数	総説	MR	TN	その他
第89巻1~6号 H29 1-12	942	166	54	71	5	36
第89巻5号~ 第90巻4号 H29.9-H30.8	902	155	52	68	1	34

支部企画による特集号は好評を博している。
編集企画協力委員には非会員の参画も要請し、幅広い企画の立案に努めている。
電子版の読みやすさは好評で、新刊では毎号フリーアクセスの記事を網羅し、6か月経過後はすべての記事をだれでも読めるようにしている。

(2) The Journal of Biochemistry (JB) 出版

欧文誌の発行状況は以下のとおりである。

	Pages	No. Paper	Reg. P	Comm. mun.	Rev/Minirev.	Ref. & Others
Vol. 161, 162 2017	980	109	76	8	24	1
Vol. 162, 163, 164 (Sep. 2017- Aug. 2018)	1,013	110	84	3	20	3(1)

* () は Online のみ

*2017年の Impact Factor は 2.350 であった。
海外を含む一般にも広く投稿を呼びかけ、優秀な論文に与えられる「JB論文賞」を設け、大会開催時にはその授賞式およびランチョンセミナーを開催し JB へ投稿, 周知をはかった。

- (3) 各月の発行状況は以下のとおりである。

	生化学	JB
個人会員	393	38
団体会員	145	57
賛助会員	61	57
書店等販売	106	187
贈呈	123	158
その他	172	103
計	1,000	600

6. 学術集会 <公2>

(1) 第90回生化学会大会(ConBio2017) 開催の報告

日時: 平成29年12月6日~9日

場所: 神戸ポートアイランド

会頭: 大野 茂男

特別講演 10, シンポジウム 34

ワークショップ 129, 一般演題 4, 369

Late-breaking Abstracts 405

参加登録者数: 10,201名 (内 学生 3,421名)

今年度の大会は日本分子生物学会、FAOBMBとの合同で開催した。

(2) 男女共同参画推進委員会活動報告

第90回大会時にランチョンワークショップ「研究者人生における様々な選択肢」を日本分子生物学会キャリアパス委員会との共同企画で開催した。

また、男女共同参画学協会連絡会では正式加盟学協会として定期的に運営委員会に出席している。

(3) 各支部の例会・シンポジウム開催の報告

各支部における学術活動は活発であり、全ての支部でシンポジウムを開催した。

- 北海道支部「第55回支部例会」 (7月)
- 東北支部「糖尿病の生化学」 (5月)
- 関東支部「基礎と応用から魅了する生化学」 (6月)
- 北陸支部「エピジェネティクス研究の最前線」 (6月)
- 中部支部「ゲノム編集が切り拓く未来の生化学」 (5月)
- 近畿支部「生命を形づくる」 (5月)
- 中国・四国支部「外来異物に対する宿主応答の細胞生物学」 (5月)

九州支部

「モデル生物を活用した生命科学：光生物学
から糖鎖・脂質生物学まで」 (6月)

(4) 国際会議等の共催・協力の報告

- ・第 16 回バイオフィロンティアシンポジウムとして「ER ストレス、糖鎖修飾、品質管理と疾患に関する国際会議」を主催した。

日時：平成 30 年 3 月 22 日～23 日

会場：鈴木梅太郎ホール

- ・ FAOBMB 関連

平成 30 年 6 月に Korea で開催された FAOBMB Conference に代表を派遣し、シンポジウム、レクチャーをおこなった。

また、2019 年 FAOBMB の代表には、本会常務理事兼第 91 回大会会頭である菊池章氏が選出された。

- ・ IUBMB 関連

Travel Fellowship などでの活動支援をした。

7. 表彰・助成 <公 3>

(1) 表彰・奨励

平成 30 年度奨励賞, JB 論文賞, 柿内三郎記念奨励研究賞および柿内三郎記念賞の募集をおこない, 各種授賞等選考委員会による選考を行った。受賞者は以下のとおりである。

- ・ 日本生化学会奨励賞

瀬川 勝盛, 佐藤 礼子, 吉種 光

矢木 宏和, 山野 晃史

- ・ JB 論文賞 (第 27 回)

胡桃坂仁志 他 3 名, 中山 潤一 他 4 名

遠藤 玉夫 他 12 名, 山形 一行 他 1 名

坪井 滋 他 11 名

- ・ 柿内三郎記念奨励研究賞 (第 15 回)

倉石 貴透, 鳥山 道則

- ・ 柿内三郎記念賞 (第 13 回)

胡桃坂 仁志

生化学若い研究者の会への支援をおこなった。

- ・「第 58 回生命科学夏の学校」「創立 60 周年シンポ

ジウム」

(2) 助成

「早石修記念海外留学助成」の募集を行い, 留学助成審査委員会による選考を行った。採択者は以下のとおりである。

第 3 回 2019 年度採択者

新土 優樹, 鈴木 翔, 谷口 怜哉, 町田 晋一

傍嶋 智明, 八木田悠一, 増子 恵太, 渡邊 謙吾

以上